

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000052"/> 整理番号 <input type="text" value="11547"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="モノエタノールアミンに溶解させた二酸化炭素の固定"/>
技術分野	<input type="text" value="無機材料"/> <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="環境"/>
適用製品	<input type="text" value="セメント, 炭酸カルシウム, フィラー, 塗料など"/>
目 的	<input type="text" value="モノエタノールアミン(MEA)は二酸化炭素の吸収剤として知られている。従来, このMEAを用いて二酸化炭素を濃縮して貯蔵しているが効率やコスト面などで問題がある。本発明では, MEA溶液中に水酸化カルシウム, ケイ酸カルシウム, セッコウなどのカルシウムイオンを含む化合物を固体として添加することにより二酸化炭素を炭酸カルシウムとして固定することを目的としている。"/>
技術概要	<input type="text" value="MEA溶液にボイラーなどから排出される低濃度の二酸化炭素を含む排ガスを吹き込むと二酸化炭素だけを吸収し, 最終的に二酸化炭素は炭酸水素イオンとなる。このMEA溶液に, コンクリートスラッジ, セッコウボード廃材などのカルシウムイオンを含む廃棄物などを固体状態で添加する。これにより, 炭酸水素イオンとカルシウムイオンの反応により炭酸カルシウムが生成する。とくに, 水酸化カルシウムを含む廃棄物を用いるとMEAを再利用できるようになる。さらに, 小規模のボイラーをもつ中小企業にこのMEA溶液を貸出し, 自社から発生する二酸化炭素をMEA溶液に吸収させてもらう。このMEAの特徴は多少のことでは吸収した二酸化炭素を放出しないことである。二酸化炭素を吸収したMEA溶液を一か所に集め, 二酸化炭素を炭酸カルシウムとして固定する作業を行う。そこで, MEA溶液を再生して再び, 中小企業に配達するというシステムの構築を行う。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp